

# 広報 なかもと

毎月10日発行 定価10円

6/10  
1985

《No.347》

## 全員集合

シャクヤクの出荷おお忙し



**おもひ内容**  
 28ページ 山村農業に活力を  
 4ページ 村づくりフォーラム  
 10ページ 生ゴミ処理場・虫歯予防  
 10ページ お知らせ・村のしるし  
 10ページ おしとりの実情  
 10ページ スターツ・クラブに招待  
 10ページ 村の守り隊・お忘れなく

私たちの村の  
 ( ) 内は前月比  
 □人口 男 3,453 (+2)  
 女 3,513 (+1)  
 計 6,976 (+3)  
 □世帯数 1,643 (+4)

〒949-8411 新潟県中津川郡中津川町大字田沢2-33番地 TEL (0257) 63-2511

No. 347 60.6.10

広報 なかもと

(10)

## 行事予定表

6月11日～7月10日

11 (火)	都市商工会青峰部バレーボール大会 (津南町総合センター)
14 (金)	心配ごと相談日 (老人福祉センター13:00～16:00) 交通安全教室・白バイ隊来村 皮膚予防講演会 (中里保育所)
15 (土)	農地法特保許可申請/切
16 (日)	休日救急医 (至誠堂医院 ☎52-3276)
17 (月)	日本脳炎予防接種 (右参照)
20 (木)	麻しん予防接種 (右参照) 飲酒運転追放の日
21 (金)	心配ごと相談日 (老人福祉センター13:00～16:00) 麻しん予防接種 (右参照) 母親学級・妊婦検診 (右参照) 高齢者講座 (子どもたちとの交流会総合センター10:00～)
23 (日)	休日救急医 (山口医院・下条 ☎55-2003) 商工会長杯争奪野球大会 (宮中村民グラウンド9:00～)
24 (月)	日本脳炎予防接種 (右参照)
26 (水)	麻しん予防接種 (右参照)
27 (木)	麻しん予防接種 (右参照)
28 (金)	心配ごとと行政相談日 (老人福祉センター10:00～15:00) 麻しん予防接種 (右参照) 産後検診 (右参照) 人権擁護相談所 (老人福祉センター10:00～15:00) 赤十字安全教室 (救急法と家庭看護・老人福祉センター13:00～16:00)
30 (日)	休日救急医 (中条病院 ☎57-3018) 村づくりフォーラム (総合センター11:30～)
1 (月)	交通事故移動相談所 (十日町市役所10:00～15:00) ツベルクリン反応及びBCG (右参照)
5 (金)	心配ごと相談日 (老人福祉センター10:00～15:00)
7 (日)	休日救急医 (上村病院63-2111) 中里村消防団ポンプ操法競技会 (総合センター前13:00～)
10 (水)	交通安全教室の日 老人クラブゲートボール大会 (宮中村民グラウンド9:00～)

※変更する場合があります。御用の際は担当課で確認を。

### つつが虫にご用心

つつが虫は、ダニの一種で全国の山林、草原、野地などに広く分布しています。山林や草地に入るときは皮膚を出さないよう、長そでや手袋を着用しましょう。

青年会活動が盛り上がり、原因の一つとして、仕事の業種が多様化に伴う勤務形態の違いが考えられます。当村では、特に十日町市や津南町に勤めている青年が多く村内での若い人の活動がやりにくい現状でもあります。

若い人たちが集まって、青年会活動やスポーツ、文化活動を活発にやるのがこれからの村づくりの原動力になるように感じます。

旧田沢中体育館は年中利用できます。大いに活用しましょう。

### 編集後記

家中で農業に取り組み、桂の山本信宏さん宅を訪れシャクヤクの出荷風景を撮らせていただきました。娘さん二人も、背文を超すシャクヤク畑の中で大活躍でした。

### 今月の表紙



## 思い出の一枚

昭和十三年五月五日、入隊のとき高田で撮った写真です。天長節四月二十九日に召集令状を受け、五月五日に入隊しました。当時は、全村をあげての歡送で、駅構内はもとより駅前広場まで青年会や婦人会などの人たちでいっぱいになり、田沢高等小学校の全校生徒も線路わきに並び、万歳、歓呼の声や旗の波に感激し、男子の本懐平和国のために天皇万歳を胸に秘め、勇躍高田歩兵三十連隊重機関銃中隊に入隊しました。戦地で励まし合った仲間も何人も名譽の戦死をしました。九死に一生を得て生還し感無量です。



▶右端の人が大島さんです

如來寺 大島虎男さん



お忘れなく

### ■ツベルクリン反応及びBCG (再ツ反者)

7月1日/14:00～15:00/保健センター/再ツ反者

■日本脳炎予防接種 (初回者 S56.4.1～S57.3.31生  
追加者 S55.4.1～S56.3.31生)

6月17日/14:00～15:30/保健センター/初回未接種者の2回目・未接種者

6月24日/14:00～15:00/保健センター/未接種者

■麻しん (はしか) 予防接種 (S57.12.1～S58.11.30生)

6月20日/14:00～15:00/上村病院/茅沢・田沢、如來寺東田沢・豊里・桂・小原・干溝

6月21日/14:00～15:00/上村病院/高道山地区・清津峡地区・土倉・倉下

6月26日/14:00～15:00/上村病院/倉俣地区・貝野地区

6月27日/14:00～15:00/上村病院/田中・上山・山崎・荒屋・通り山・芋川新田・桔梗原

6月28日/14:00～15:00/上村病院/未接種者

### ■母親学級

6月21日/12:30～13:00/上村病院/妊娠中の保健(中期)

### ■妊婦検診

6月21日/13:30～14:00/上村病院

### ■産後検診 (S60.1.1～S60.4.30の間に出生した人)

6月28日/13:00～14:00/保健センター

# 山間地ならではの



中年が若者のために  
土倉 山田一郎さん

しょう油1つでも角間からの山道を背負ってきたころから思えば随分住みやすくなりました。しかし、生活の向上とともに現金の必要な時代になりみんなが現金収入を得るため日雇いに出ています。現金収入を得られる仕事のあるうちにここで住んでいられる基盤を築きたいと思えます。

今回の山村農業活性化事業等を利用して、水田のほ場整備、畑地の造成をし労働力の省力化を図り、若い者が残れるようにしたい。そのために今のわたしたちの年代がもうひとガンバリしたいと思えます。

現在この地区の水田の多くは、二〜三アで耕運機が入るのが精一杯という現状です。ほ場整備により農道



### 今年度実施される事業

- 1. 特産物関連事業
  - ・野菜展示ほ5a・防除機
  - ・管理材・多目的作業機
- 2. 土地基盤整備関係
  - ・不動石水路L=365m
  - ・山口ほ場整備90a

### 可能性を探る標高

中里村は、平場で標高二百、倉俣大中田で標高四百、清田山で五百、土倉で標高七百、小松原で標高千というように、標高差に富んでいます。他の地域では、抑制栽培をするために冷蔵庫等を利用して栽培していますが、当村では自然条件を生かして抑制栽培をすることが出来ます。一つの作物でも長い期間出荷できる体制を作ることが市場での評価につながります。

## 特産物の開発をめざして

山村農業活性化事業は、県農林水産業総合振興事業の一つで、山村地区の農業振興を図るために、地区の話し合いから活性化の道をさぐり事業を実施していくもので、従来の補助事業と若干異なっています。

等も整備されると大型機械の導入が可能となり、労働力の省力化ができます。更に、寒冷地に強いポット式の育苗方式による機械田植も試みられており、これを普及したいと考えています。



山菜加工に夢を  
倉下 関沢春雄さん

冬の豪雪を考えるとつい逃げ腰になってしまいます。

しかし、いま我々の年代が頑張らなければ確実にこの地区はさびれます。

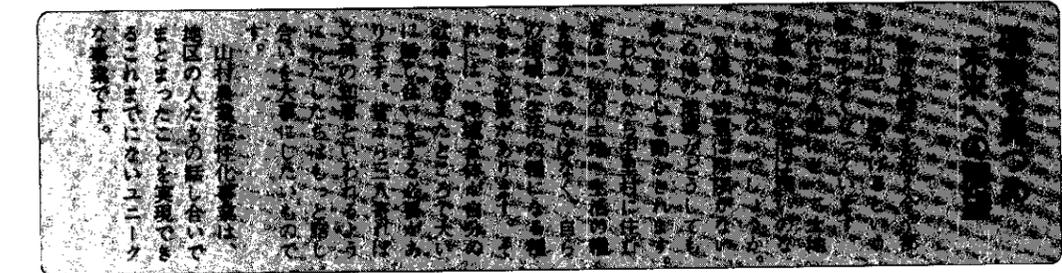
この地区は山菜の産地です。この天然資源を利用し山菜加工の道を進めたいと思います。これが成功すれば、春に塩漬しておいて冬場に加工することもでき、出稼ぎの解消にもなります。また、根雪期間の長さを利用した、野菜の貯蔵方法などを考え、この地区の特性を生かした基盤を築きたいと考えています。

こうしたことから今後、野菜栽培や花卉の導入により、米作りプラス野菜作りという複合経営が可能になります。今回の事業の中で野菜展示ほを設け、夏秋トマト、レタス、ホウレン草などの試験栽培を行う予定です。

現在、清津峠等で売られている山菜加工品などは他の地域でできたものです。ぜひ、地元製造の特産物を販売したいものです。

### 山の標高が山菜加工

現在、この地区では一年間を通して、約百トンの山菜が出荷されています。この豊富な山菜資源をただ原料として出荷していたのでは収益につながりません。今回の事業で多目的に利用できる施設が建築されますのでこれを利用して山菜加工の道を開きたいと意気込んでいます。こうした加工を更に進め、村内で生産される山菜の加工もできるようにしなければならぬことだと思っています。



山村農業活性化事業は、地区の人たちの話し合いでまとめたことを実現できることまでにはいっていません。

# の基盤を

## 若者が残れる基盤を

土倉、倉下集落は、村の東南に位置し標高五百、七百の急斜面に点在しています。戸数は、土倉集落二十戸、倉下集落九戸で、昭和五十年国勢調査に比べ三戸減少しています。村の中心部から十四・五と離れ、気象条件は、村内でも一番厳しい所です。

この地区の水田の多くは二〜三アと小さく、しかも高いアゼの段々田んぼです。用水は、小さな沢の水を引いたり、山からのわき水に頼っています。一戸当りの平均耕作面積は、水田九十ア、畑九アと村内の平均と比べて若干多くなっています。しかし、半湿田が多く、機械化されていないため、農作業の苦労は大変なものです。



悩みです。

年齢階層別人口	人数	割合
土倉・倉下	23	18%
村	1,444	21%
土倉・倉下	75	59%
村	4,524	64%
土倉・倉下	29	23%
村	1,089	15%
土倉・倉下	127	100%
村	7,057	100%

村の数字はS55国勢 土倉・倉下S60.5月現在

占める五十歳以上の比率が高くなっています。後継者問題については、土倉集落の方が深刻で、二十戸の内約三分の一しか若い後継者がいません。倉下集落は、九戸の内約八割の家に後継者がいます。

### 若者が定住できる

こうした現状から、地区内でも専業農家は二戸だけで、あとは日雇い労働で収入を得ているという現状です。

### 平均年齢四十二歳

昭和四十五年国調では、人口の二五・二%を占めていた幼児人口比率が土倉、倉下では一八%と減少しています。左の表でも分かるように高齢人口が二三%と高齢化が進んでいます。しかも生産年齢人口の中に

人間性回復が呼ばれ豊かな自然をもつ山村が見直されています。村内でも一番雪の多い土倉、倉下集落に二十九戸が力強く生活をしています。今後この地区に若い人たちが残っていくためには、生活の基盤づくりをしていかなければなりません。山村農業活性化事業に取り組み土倉、倉下集落にスポットをあててみます。



吉原の多い谷田(寺タイガ)



清潔でいいですね(宮中)

### 生ゴミを生かす

毎月出る生ゴミをゴミ収集に出すのはもったいないことです。というのは、回収された生ゴミは、水分を燃やすようなもので重油がたくさん必要です。昨年津南町にあるゴミ焼却場で使用された重油は、なんと958万円になっています。昔から生ゴミ等は、コヤマを作ってそこに積んで堆肥を作り、畑や水田に入れていました。しかし、現在では、ハエがたかたり臭うためあまり作られていません。

#### 臭くなくハエもたからない容器普及

昔のコヤマの利点を生かし、欠点であった臭さやハエ問題が解消された生ゴミ処理器が3年ほど前から普及しています。

この容器は、つり鐘状のポリ容器で土の上に置いて生ゴミを入れるだけでOKです。容積100ℓのもので2~5人家族の生ゴミを1年中入れてもいっぱいになりません。

家庭菜園に利用できる堆肥ができるこの容器をぜひ備えつけてください。

#### ★保健センターあっせん

- 生ゴミ処理器 (2~5人) 4,800円
- 生ゴミ処理器 (4~8人) 7,200円

■詳しくは保健センターまで ☎63-3152

### 低い罪の意識

昨年十日町警察署管内で若者による大事故が、二件発生しています。一件は、国道二七号線太田島地内で、若者五人の乗った乗用車が街灯に激突、五人が重傷。もう一件は、国道二五二号線焼野地内で友だち同士の車が衝突、一人死亡、三人重傷、二人軽傷。このような痛ましい事故が発生しました。両方とも飲酒運転によるスピードの出過ぎが原因です。

とかく「今の若い人たちは、自分本位だ」といわれ

交通事故を減らすために

## 考え方の甘さが事故に 最後に泣くのは自分

わたしたちは、人のものを盗むという行為に対しては非常に罪悪感をいだきま

ています。十日町警察署津沢交通課長さんは「今の若い人たちは、違反をしてもへ理屈を

「つかまりさえしなければ」といって軽く考えがちです。

正しい、こうしたことは、決して若者だけが悪いのではなく社会生活の規範を守るといってつけを親がきちんとしなかったことも原因の一つではないか」と話しています。

### 自分さえよければ という甘い考え

家族で声を掛合おう

あわないうように注意しましょう。



二輪車の事故は大ケガのもと

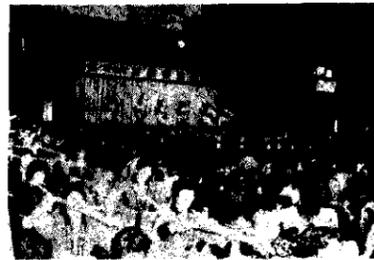
## 考えようわたしたちの郷土

### 村づくりフォーラム

6/30

「村に活気がない」「過疎化が進むばかりだ」と嘆いていても村はよくなりません。七千人の村民全員が「よい村にしたい」という考えをもつことが大切

昭和三十一年九月三十日



気持ちをひとつにして村づくりを

### 過疎を克服するための

まず話し合いの場を

村づくりフォーラムの中では、三分科会に分かれてそれぞれのテーマについて話し合っていたり計画です。

★第一分科会(生活改善とリサイクル) 派手になってきている冠婚葬祭の簡素化やゴミ処理を

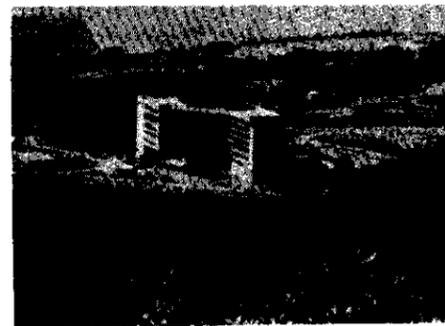
(貝野村の一部合併)時点で九千八百五十七人あった村の人口も、昭和五十五年の国勢調査では、七千五百七人に減少しています。高度成長期後半の昭和四十五年までは、年平均百五十人も減少していましたが、それ以降は五十人くらいです。しかし、幼児人口の割合が減少するとともに老人人口が急激に増え全人口の五・四%を占めています。この中には、六十~七十歳の高齢者が一人暮らし、または老夫婦だけの世帯も多く、近い将来こうしたことから人口の減少が進むものと思われま

ぐる資源の再利用方法を考えます。  
★第二分科会(通年観光と地域の活性化) スキー場建設等をふまえて通年観光の方策を探るとともに克雪、利雪も考えます。更には、国道一七号線拡幅に伴う商店街の活性化を考えます。  
★第三分科会(中里村の特産品開発) 村内に伝わる伝統技術の見直しや観点を交えた資源の発掘を行い、村の特産物の開発を考えます。  
★講演会 基調講演は、栃木県茂木町役場総務課課長補佐大久保正義氏が「村づくりは気づいた時から気づいた人たちで」と題し講演します。  
★日時 六月三十日 午前十一時半~  
★場所 総合センター  
★申込み 今回の広報に折込んであります。村制施行三十周年記念事業の第一弾です。おおいの参加で村づくりの輪を広げましょう。

### グリーンピア津南 12月1日オープン

津南町に建設中の大規模年金保養基地「グリーンピア津南」が、12月1日にオープンします。352人が宿泊できる8階建てのセンター棟を中心に集会所、各種飲食施設、スポーツ施設が完備されます。

年金保養協会では、開業5年目の年間入込み客を日帰り7万人、宿泊6万人の合計13万人を見込んでいます。ここを訪れる多くの観光客が清津峡や七ツ釜に立ち寄るものと思われる。神秘的な自然と温かい人情味を生かした観光地づくりをしたいものです。職員採用については7号をご覧ください。



すばらしい景観の中12月1日オープン

### フォーラム日程表

11:30	12:00	12:25	14:25	15:05	16:55	17:10	17:30
受付	開会・主旨説明	分科会	分科会報告	講演会	質疑応答	解散準備	立食パーティー

## 花と実の楽しめる梅を

### 30周年記念樹



村内の全戸で梅を植えて、春はかわいらしい花を楽しみ、夏は健康食品として注目を集めている美を愛しむ、村では、二十周年記念樹として梅の木を選定し、普及したいと考えています。  
梅の木の品種は「豊後梅」です。この品種は、あんととの交雑種のため花もや大きく実も大きい上、寒さに強く北海道南部まで栽培されています。

希望者は六月三十日までに  
★価格 一本二百円(不足分は村補助)  
★期日 六月十日~六月三十日まで  
★申込み 後日回覧で申込みをとる予定です。

### ジュースの

### 買い置きはやめて



「シマッタ……一歳半の娘に早くも虫歯ができてしまった。完全に親の責任」五月十七日、一歳半児検診での親のなげきです。虫歯がこわいのには、健康に支障をきたすこととです。歯が一本抜けただけでも、かむ力が六三割に減少するといわれています。

★食欲低下、偏食に 虫歯になると当然歯が痛くなり、それによって食欲もおち偏食のくせがついてしまいます。  
★全身への影響 虫歯のため微熱が続く、リンパ腺がはれ、更に心臓や腎臓、リウマチ性関節炎などを起こす場合があります。

虫歯り患率 (S57~59年度)

対象者	虫歯あり	り患率	虫歯本数
1歳半児	325	76%	0.71本
3歳児	247	186%	4.9本
5歳児	259	228%	7.7本
計	831	490%	62.1%

★性格への影響 虫歯がひどくなると人前でもひげめを感じたり、発音が悪くなり内向



